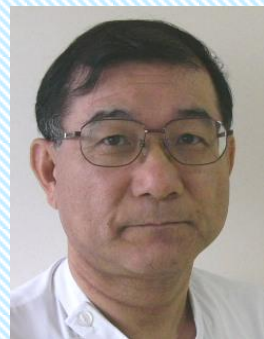




新年明けましておめでとうございます！

新年あけましておめでとうございます。
 昨年、激動の年でした。欧州では信用不安が広がり、日本では東日本大震災という未曾有の大災害と原発事故が起きました。
 私達職員は沖縄民医連の一員として、震災早期から宮城県の医療支援を行いました。今後も東北被災地の復旧・復興に向けて力を貸していく必要があると思います。
 経済のグローバル化の下、貧困と格差が広がり、助け合いの心が希薄になる中、この震災・事故はおこりました。国民同士の助け合いと、そして、何よりも、国家として被災地国民になすべき事が問われたと思います。
 グローバル化により、一部の金融資本家に富が集中し、多くの国民は貧しくなるということが明らかになりつつありますが、その延長線上の考え方であるTPP（環太平洋経済協定）問題が政府から持ち出されました。
 農業や医療という国民の基本的な分野が危うくなるこの提案は、TPPの実態がわかるにつれ、多くの反対の声が上がっています。また、沖縄の意思は普天間基地の早期閉鎖・新基地は要らないということがはっきりしているにもかかわらず、国はしゃにむに、辺野古への新基地建設をおしすすめようとしています。平和や、暮らしを守る課題に今年も積極的に取り組んでいきたいと思ひます。

さて、昨年も、中部協病院においては医療活動が大きく前進しました。泌尿器外来ができ、また、月2回の婦人科外来もできました。要望の強かった婦人科外来・健診の課題に伝えていきたいと思ひます。職員の数や病院利用者が増え、様々な取り組みが行われ、多くの医療分野で前進し、経営も大きく改善する中、今年、中部協同病院は創立25周年を迎えます。
 医療活動をさらに前進させるため、1月から2階病棟の改修が始まります。また、外来のトイレもリニューアルする予定です。工事期間中、病院利用者の皆様にはご迷惑をおかけしますがご協力のほどよろしくお願いいたします。
 地域との交流・連携では、中部地域における医療・福祉機関との医療連携もさらに進みました。中部協同病院の病棟では主に亜急性期・急性期医療を担い、様々な医療要求に伝えていきたいと思ひます。
 今年も、地域に目を向け、地域の医療・介護・福祉機関と連携を強化し、又、医療の質を向上させ、地域に役立つ、信頼される医療・介護活動を目指して行きたいと思ひます。本年もよろしくお願いいたします。



(院長 与儀洋和)



新年あけましておめでとうございます。新年を迎え職員一同、地域住民の皆様から信頼され選ばれた病院を目指し、新たに心を引き締め取り組んで参る所存でございます。
 さて、今年四月には診療、介護報酬で大幅な改定が行われます。既に新聞等で報道されていますように医療費の引き下げ、患者負担増などが検討されており、患者様とともに医療機関においても厳しい局面を迎えることになりませんが、患者様の期待に沿える病院を目指し頑張ります。
 今後は高齢化社会で医療の重要性が増していく中で、医療機関に求められる機能は今後も増え続け、そうした状況に対して適切に、かつ誠意を持って対応していくことが求められると思ひます。
 また、病院の改善を図る目的で病院に設置している「虹の箱」にいただきました患者様からのご指摘は、職員接遇に関する事項が多く占めておりました。ご指摘いただきましたご意見につきましても、該当部署の責任者、管理会、委員会に回覧し改善に向けて努力を致しています。
 中部地域の急性期病院、診療所等の医療連携を深め、地域住民の皆様、ご家族の要望に対して迅速に対応できるように心がけていきたいと思ひます。ありがとうございます。願ひ申し上げます。
 (事務長 外間貞明)



(総看護師長 大城真千子)

新年明けましておめでとうございます。中部協同病院は、組合員の皆様に支えられ、今年二十五年度の節目を迎えます。地域に根ざした医療活動を組合員の皆様と共に展開し、二十五年目にふさわしい飛躍の年を迎えたいと思ひます。
 昨年、中部協同病院では泌尿器科・婦人科など新たな診療科を開設し施設内の設備、特に患者様や利用者様が安心して快適に利用して頂けるように環境面での整備を進めており、少しでも皆様の要望にお応えする取り組みを展開しました。また、三月十一日に起きた大震災では被災地への支援活動に四人の看護師を派遣し、医療生協職員としての力を発揮したことで、医療生協の「健康をつくる」くらりと平和を守る」という存在意義を確認すると同時に、人と人との繋がり的重要性を痛感しました。今年も継続的に支援活動を行っていききたいと思ひます。
 日常の医療活動においては昨年から看護部の課題である接遇改善に努力してきましたが残念ながら時折苦情が寄せられます。「接遇は看護の原点」の視点で継続し改善していきたいと思ひます。そして質の高い看護、介護の実践で医療とくらしの両面を支える看護・介護を目指し職員一同頑張ります。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

2012年新春のつどい

下記日程にて、今年も新春のつどいを開催いたします。多くの組合員さんのご参加をお待ちしております。

*具志川支部

日時：1月28日（土）午後6時
場所：うるみん
会費：1000円

*宜野湾支部

日時：1月29日（日）午後6時
場所：宜野湾市社会福祉センター2階
会費：1000円

*沖縄市支部

日時：1月28日（土）午後6時
場所：沖縄市かりゆしホール
会費：1000円

*読谷支部

日時：2月19日（日）午後7時
場所：読谷村文化センター中ホール
会費：1000円

*石川支部

日時：2月1日（水）午後6時30分
場所：石川商工会館
会費：1000円

*与勝支部

日時：1月28日（土）12時～
場所：内間公民館
会費：500円



あけまして
おめでとう
うらやまます

脱！原発！福岡1万人集会の報告

去る10月13日（日）、福岡で行われた原発集会に参加しました。沖縄からの参加者は26人でしたが、最終的な参加者は何と1万5000人、参加団体は320を超えるという、当初の予想を大幅に上回る、大きな集まりとなり、資金カンパも約500万集まったそうです。これだけでも、原発に対する地元の反発や、全国の関心が高まっていることが伺えます。

沖縄県勢は第1部、第2部の幕開けにエイサーを行い、会場を盛り上げました。急な要請でしたが、福岡医療生協の3名を含め行ったエイサーは来場者も交えたカチャーシーで締めくくり、大盛況となりました。

会場では絶えずサウンドデモ活動が行われ、予想外に明るい雰囲気でも活動できました。サウンドデモは歌に乗せて原発反対の意思を示すやり方ですが、会場を出る頃には自然に口ずさむようになり、音楽の力を改めて実感するとともに、世間に浸透しやすい活動だと感じました。シンポジウムでは専門家の方々が原発について話されましたが、私は特に「私たちは電気がだめだと言っているのではなく、電気の作り方を考えてほしいだけだ」という言葉が心に残りました。

デモ行進では何と沖縄が最前列となり、シュプレヒコールを行いながら福岡の街を練り歩きました。プラカードでは「原発・米軍基地反対！」と、福岡と沖縄の気持ちを大きく意思表示しました。今回の大会が日本だけでなく地球全体の大きなうねりになることを信じ、これからも脱原発の活動を続けていきたいと思っております。（医事課 久志 鈴里）



国は辺野古のアセス提出を断念せよ！！

去る十二月十日、普天間飛行場の辺野古移設反対！環境影響評価書の提出断念を求め、那覇市の県民ひろばにて行われ、肌寒い一日でしたが、総勢三五十人もの参加者が集まり、前沖縄防衛局長の不適切な発言への糾弾と一川保夫防衛相の辞任を要求しました。政府が誠意ある謝罪と反省を示し、沖縄との関係修復を望むのであれば、環境影響評価書の提出を断念し、謝罪するべきとの意思統一がされました。

県庁前に 三五十人結集

集会は、赤嶺政賢衆議院をはじめ、県内各党の代表や韓国国会議員・権永吉氏による連帯のあいさつが行われました。普天間基地の辺野古移設、高江のヘリパット建設反対を訴え、国際通りをデモ行進し閉幕となりました。

集会に参加し考えたことは、沖縄が再び「捨て石」となることが重要であり、沖縄から声を上げ続けていくべきだと感じました。

（医局事務課 仲宗根 愛）



県連青年委員会・JB・ACT共催
東日本大震災チャリティー企画

フットサル大会



下記日程で、沖縄医療生協、沖縄民医連の青年職員らによる、フットサルのチャリティー大会が行われました。この大会は2011年3月11日に起こった未曾有の東北大震災の被災地への支援の一環として行われました。参加費として集めた¥1000の一部を被災者のみなさまへ義捐金としてお送りいたします。詳しいご報告はまた次号で行います。

日時：2012年1月8日（日）
14時～17時

場所：与那原町東浜フットサルコート